

令和6年度
地域密着型特定施設
介護付有料老人ホーム みっかいち
事業計画

1, 法人基本理念

「のんびり」「一緒」「楽しみながら」

R6年度施設キャッチフレーズ（29年度からの継続）

「繋ぐ」（つなぐ）みっかいち

2, 基本方針

- ・地域密着型施設として、入居者様が可能な限り自宅と変わりなく、安心して暮らせる施設創る。
- ・地域密着型施設として、入居者様ご家族様地域の方々職員と一緒に協力して開かれた施設創る。
- ・施設に係る全ての人が見るく楽しみながら過ごせる施設を創る。

3, 援助方針

- ・入居者様一人ひとりの人権を尊重し、心身状態など個人の特性に配慮しながら支援する。
- ・施設の社会化を意識しながら、入居者様に係る全ての人との交流を支援する。
- ・入居者様一人ひとりに、適切な言葉使いと態度で関わる。
- ・全ての行動が利用者様の安心、安全、満足につながるという意識で関わる。

4, R6年度の重点目標

ウェルフェア流5つのメゾットの展開（継続）

① 業務分業、ダイバーシティー

- ・ミルト（障害者就労継続支援A型事業所）
- ・地域の主婦、シルバー間接業務。
- ・就労移行支援事業者テクノパークぶろぼの（在宅テレワーク雇用）

② ICT活用

- ・ケアラボとボックスの使用、オンライン会議継続、ライブ配信の定着
見える化の取り組み

③ 週休3日夜勤専従程度

- ・7年目を迎える週休3日夜勤専従制度を継続し、職員のワークライフバランスの実現を果たすことで、サービスの安定供給を目指します。

④ キャリアコンサルタント活用

- ・有資格者による相談、夏、冬の面談にて相談、助言等の活用で職員メンタルケアに努める。

⑤ 自立支援介護の導入

- ・ドリームマイスターと夢プロ rabo開発の評価表を掛け合わせて継続して利用者の心身の向上を目指します。
- ・感染対策とりながら夢プロの実践、評価できるように努めていきます。
- ・数値化の評価の取り組み

より良い生活を送るために、精神的な部分と身体的な部分を一度に数値化し、日々の生活の中でドリームマイスター（利用者様がしたいこと）を定期的に行う。

どの部分が良くなったのか？また悪くなったのか？を把握して、その利用者ができること維持（できれば向上）しできる様に取り組む・

※その他の取り組み

- 1、虐待防止委員会 1月、4月、7月、11月 定期開催して不適切なケアの予防に取り組めます。
- 2、機能訓練の継続。外部鍼灸師による機能訓練を継続し、利用者様のADL向上に努めます。
- 3、BCP制作職員に対し役割明確化を図り、研修により理解と周知を行う。

5、支援内容

1) 利用者様への援助

①ケアプランの作成とケアの統一

- ・各職員が参加する入居者様個人のケアカンファレンス開催。
- ・作成したケアプランの周知、入居者様の個々の目標や解決すべき課題を職員が共有し統一したケアを行う。
- ・入居者様の状態の変化に合わせて、随時にプランを見直し変更を行う。
- ・夢プロ、音楽レクを連動して活用し、その都度検討して利用者様の満足度向上に努める。

②自立支援を念頭においた援助

- ・入居者様の身体機能の維持及び回復のため機能訓練を積極的に行い、日々の生活が快適になる様支援する。
- ・入居者様の残存を活かしてケアを通して、入居者様が生き生きとした生活ができる様に支援していく。
- ・夢プロの実践前、実践後の状況を独自に開発。自立支援評価表にて評価、分析個々に合わせた支援を行うことで心身向上に努める

③感染予防策

インフル、コロナウイルス感染対策と感染の流行を早期に情報収集し、施設研修を行い徹底した予防策を実践。

感染対策を優先し、万が一に備えた日々の対策を実践して行う

④緊急予防対策

- ・緊急対応マニュアルに沿った対応ができる様に、マニュアルの設備施設内の研修適切な対応を行える様に務める
- ・コロナ発性の時は、昨年5類移行後変更に伴い行う。
インフル、コロナは感染状況の把握から在宅医療、介護連携支援センター報告専用用紙に記入して前週月曜日～日曜日までの新規発生状況を翌週月のFAXにて報告する。 (すずらん)

⑤記録に充実

- ・電子化でスマホ、タブレットを活用した記録の導入で、質の向上に務める

⑥健康管理

- ・日々の健康管理はもとより、定期的に所定の健康診断を行い、疾病の早期発見や予防に努める。状態変化については速やかに主治医に上申を行い、指示にて沿って適切に対応します。

2) 食事

①給食会議

- ・毎月開催し、利用者様の要望や意見を可能な限り取り入れるように検討する。

②毎月の行事の合わせ、利用者様のご希望に可能な限り添える様な「特別食」の提供

3) 入居者様の生活の活性化

①5類移行から季節の行事も取り入れて提供、委員会活動を通しての行事を提案し入居者様の生活の活性化を図る。

6, 防火計画

定期的な消防訓練の実施

- ①年2回地震を兼ねた消防訓練 (夜間など人員が少ない場合を想定して机上訓練)
- ②消防訓練の実施 (施設内研修)
- ③専門業者による定期保守点検の実施 (非常通報装置、火災報知器、スプリンクラーその他の自動制御装置)

7, 職員会議、委員会・職員検収について

1) 会議

①職員会議

- ・業務内に課題解決や関係各職種の情報等を確認する。参加できない方はオンライン (Zoom)行なう。

②ケアカンファレンス

- ・入居利用者様の個々に合わせて支援の決定変更等を行う。

2) 委員会

- ①安全、安心活動…入居利用者様が安心して暮らせる環境を整備する。
 - ・ヒアリハット活動
 - ・利用者様の消耗品把握（1ヶ月で使用する消耗品を把握し、在庫切れによる不利益予防）
 - ・事故予防・事故報告・事故発生時のマニュアル設定
- ②アクティビティ活動・・・入居利用者様が意欲的に生活できる行事、感染対策をとりながら確実に進めるよう計画・実施する。
 - ・年会行事作成
 - ・要望に応じた不定期企画の開催
- ③身体拘束・虐待防止委員会・・・法で定められた内容の確認及び予防のための研修を含めて委員会の開催（1回3ヶ月）
- ④BCP委員会（感染）コロナ感染対策感染症の防止発生時の対応のための委員会の開催（1回/半年）
- ⑤BCP委員会（非常災害）・・・作成した大規模地震を想定した非常対策の訓練、計画、作成に基づき委員会の開催（1回/半年）

3) 職員研修

- ①年間計画を基した計画的な開始を目指す。コロナ過の中で職員、利用者の安全を優先させ感染状況により柔軟な計画変更も行う。
外部の研修やセミナーに参加する機会提供する。またウェルフェアグループ、アカデミー感染状況に異なるが、可能な限り参加して個々の向上を図る。

令和6年度 みっかいち研修計画

月	開催日	研修テーマ	講師	
4	第一月曜日	虐待防止	外部講師	身体拘束
5	第一月曜日	感染対策	管理者	
6	第一月曜日	ドリームマイスター	相談員	
7	第一月曜日	感染・脱水	看護師	身体拘束
8	第一月曜日	ドリームマイスター評価、結果	相談員	
9	第一月曜日	障害者の理解	外部講師	
10	第一月曜日	感染対策（冬季）	管理者	
11	第一月曜日	虐待防止	外部講師	身体拘束
12	第一月曜日	BCP（災害）	主任	
1	第一月曜日	感染症（再確認）	管理者	身体拘束
2	第一月曜日	自立支援（夢プロ）	相談員	
3	第一月曜日	次年度事業計画について	管理者	

※開催日は基本的に第1月曜日に開催、都合にて前後します。

※研修テーマは時期に沿ったものもありますが、状況により開催時期や内容の変更もあります。

※感染対策、自立支援は状況に応じた対応の確認や意識付けが重点となり、資料、議事録は作成せず対応。